

## 平成18年カスケード周辺の植栽について

土井環、磯部実、川口博康

### はじめに

カスケードは、正面ゲートから大温室へ向かう、左脇に水の流れを配した階段状の園路である。平成10年より大小のコンテナ等を設置し、本格的な装飾を開始した。現在、ゲート前も含め、大小59個の大型コンテナ(φ90cm、60cm)、30か所の小花壇、12個の立体花壇(「グローバル」7基、「みずいらず」3基、「ダンダン」2基)、21個のハンギングバスケット、角型・丸型プランター等を用いて、季節の草花等を常時展示している(写真1)。「カスケード周辺を一年中花で覆うように装飾するとともに、ガーデニングの情報提供の場となるよう、季節を代表する植物や新品種の導入等を図る」ことを目的とし、ロケーションごとに効果的な展示となるよう努めた。

### 植え付けた植物

コンテナや花壇に植え付けた植物は表1のとおりである。イベント等にあわせて、プランターで展示した植物は表2のとおりである。鑑賞期間が長く、管理に手間がかからず、ある程度華やかさも演出できることから、夏場はカラフルリーフを、冬場はハボタンを多用した。

#### ゲート前付近

4月中旬～12月中旬まで、駐車場西側歩道横と駐車場からゲートまでの管理道アプローチにベゴニア・センパフローレンスを植えた75cmプランターを約60個並べ、歩行者用通路と車道の分離を行った。前年の冬、霜が降りる前に、ガラス温室(最低温度5℃)の棚下に取り込み、剪定、施肥を行うことで、4月中旬からの再展示が可能となった。

ゲート前では、「サカタのタネ」から試作用に提供を受けたサンパチエンスを約40鉢(φ35cmの丸形プランター)展示した。花のボリュームに驚く入園者が多く、大変好評であった。6月から11月中旬までサンパチエンスをメインに装飾した(写真2)。

#### カスケード

立体花壇の「グローバル」は、中輪パンジー(11月下旬～5月中旬)、ベゴニア・センパフローレンス(5月下旬～12月上旬、途中9月中旬に植替)

で装飾した。

ハンギングバスケットは、植物友の会管理ボランティアの協力を得て、9月からコリウス、モミジバゼラニウム等秋素材を、12月からはハボタン、ピオラ等を使った冬素材のバスケットを展示した。植え込む素材の種類をしばり、色調を揃えることで、全体として統一感を出すようにした。

プランターでは、6月のハナショウブ、8月のサギソウ、アサガオ、9月のイネ、10月のコスモス等、季節を代表する植物に足を止める人が多かった。



写真1. カスケードの植栽(11月)



写真2. ゲート前の植栽(11月)

(サンパチエンスを中心に、クロトン、トウガラシ'ホットパープル'、コリウス等薬物を用いた)



写真3. ガーデニングコンテスト作品展の様子

表 1. 平成 18 年にカスケード周辺に植栽した主な植物

	12月(平成18年)	1月	2月
冬	*ジャノメエリカ スイートアリッサム ガーデンシクラメン カンパニュラ・ラブンクルス'涼姫' ハツユキカズラ ハボタン パンジー ビオラ フユシラズ ワスレナグサ (チューリップ'イールドフランス') (チューリップ'ピンクダイヤモンド')	アグロステンマ *クリスマスローズ シロタエギク ジギタリス スカビオサ モモイロタンポポ	
春	アルメリア エリカ・ベジザ(コットンヒース) オステオスペルマム ガザニア *キレハラベンダー スイートアリッサム ツルハナシノブ ブルーデージー ヘリクリサム ヘリプテルム'ペーパーカスケード' マーガレット ヤグルマソウ ロベリア	アルメリア オステオスペルマム ガザニア スカビオサ'ピュアブルー' プチダリア スマイル ペゴニア・センパフローレンス マーガレット バタフライ 八重咲インパチエンス	エノテラ'アフリカン サン' オステオスペルマム チョコレートコスモス *ナデシコ交配種 ペゴニア・センパフローレンス *ミモザ'ブルブレア'
夏	*アカンサス インパチエンス エンジェルストランペット オリズラン オレガノ'ケントビューティ' カラジウム'ローズパッド' カンナ'ビューイエロー' カンナ'ビューブラック' ギボウシ類 クロトン'アケボノ' コリウス'チェリースター"アップルスター' *コンボルブルス・クネオルム サルビア・ファリナセア サンビタリア スーパーチュニア セロシヤ'ベネズエラ' ティーツリー ハイビスカス ハツユキカズラ ○ハナショウブ フィリカリガネソウ プレクトランサス'モナラベンダー' ペゴニア・センパフローレンス ペントス ポーチュラカ ラゴディア・ハスタータ	○曬白アサガオ ○渦葉鈴葉丸咲(アサガオ) エンジェルストランペット クロトン'スクルスキー' サンパチエンス ツンベルギア デュランタ トレニア ハイビスカス・アーノデアヌス ハイビスカス *ハクチョウソウ ヒマワリ'マンチキン' ファイリエンジェルストランペット ペントス ランタナ	アキランサス ○イネ 17品種 イレシネ'ピンクファイヤー' クロトン'サマーリーフ' サギソウ サルビア・ファリナセア サンパチエンス スパティフィラム ダールベルグデージー トウガラシ'ホットパープル' ハイビスカス'サマーレッド' ヒボエステス ペゴニア タブレット ヘビウリ ペントス ポーチュラカ ヨウシュコバンノキ ワイルドオーツ
秋	9月 アキランサス キバナコスモス コリウス サルビア・ファリナセア ダールベルグデージー *ハナカタバミ *フジバカマの仲間 ペントス *マーガレットコスモス モミジバザラニウム ヨウシュコバンノキ	10月 アキランサス ウインターコスモス コスモス コリウス'ブラックベリーワッフル' 'ウインターサン'、'ジグザグ' *サントリーナ ニューサイラン *ハマギク *フジバカマの仲間 ユーホルビア'ダイヤモンドフロスト' *ユリオブスデージー	11月 ウインターコスモス エリカ'ウインターファイヤー' エリカ'クリスマスパレード' エリカ・コニカ ゴールドクレストウィルマ コプロスマ コーヒー *サルビア'イエローマジスティ' *サルビア・マイクロフィラ(チェリーセージ) *サルビア・レウカンサ *ジャノメエリカ ハナナ ハボタン パンジー ビオラ フユシラズ ワスレナグサ (アリウム ギガンチウム) (チューリップ'イールドフランス') (チューリップ'ピンクダイヤモンド')

\*は恒常的に植栽したもの  
( )は球根の植え付け  
○は単鉢による展示

表 2. 主なプランター展示植物と展示期間

植物名	数量	展示期間											
		H18/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H19/1月		
ペゴニア・センパフローレンス	48	←	←	←	←								
サルビア・ファルナセア	14				←	←	←	←					
八重咲インパチエンス	5				←	←	←	←	←	←	←		
ニューギニアインパチエンス	6				←	←	←	←	←	←	←		
サンパチエンス	37				←	←	←	←	←	←	←		
ヒマワリ‘マンチキン’	72				←	←	←	←					
コリウス‘チェリースター’“アップルスター”“イエロージグザグ”“ジグザグ”	25						←	←	←	←	←		
コスモス	15								←	←	←	←	
サルビア・レウカンサ	7								←	←	←	←	
ウィンターコスモス	8								←	←	←	←	
ハボタン	20									←	←	←	←
パンジー	7									←	←	←	←
ハナナ	44												←

### 維持管理

夏から秋にかけて晴天と猛暑が続き、水やりに注意を払った。プランター植えのサンパチエンスやコリウスは、朝、夕2回かん水を行った。古花、古葉除去は、ほぼ毎日行った。病害虫は、バッタ、ダニ、アブラムシ類が目立った。花き類・観葉植物における登録農薬は種類が限られることから、初期防除に努めた。

### カスケードでの展示会について

10月21日から11月5日まで「ガーデニングコンテスト作品展」をカスケード中段付近で行った(写真3)。期間中には、外部講師による入賞作品の解説と実演会が行われ、大変好評であった。通常、園内では家庭で用いられるような小型のコンテナを使った装飾を行わないため、作品展という形で、様々な工夫をこらしたコンテナガーデンが展示されることは、入園者にとって非常に参考になると思われる。

### 今後の課題

#### ゲート前

植物公園の玄関であり、華やかで、管理が行き届いた状態が要求される。そのためには、古花除去等の日常管理が容易となるよう、冬場を除いて寄せ植えは極力行わず、なるべく単植とし、量的な充実を図ることが効果的であると思われる。まず年間を通じて基本となる植物のローテーションを設定し、状況に応じて、葉もの等他の植物を組み合わせることで、バリエーションを増やし、来園者の満足感を高める展示をめざす。

#### カスケード

中央部に導線として、コニファーを配置しているが、ゴールドクレストの傷みが目立つため、新規植

物への移行も検討しつつ、早期の改植を行う。

ケヤキ下の小花壇は、緑陰を生かした植栽となるよう、日陰に強い植物を導入し、シェードガーデンの参考となるよう工夫する。

大型コンテナは、コンテナ個々の装飾にとらわれ、相互に関連性をもたせた展示がしにくいという一面がある。今後は、相互の関連付けよりガーデニングの情報提供という視点で、コンテナごとに、話題となる植物を植え込み、栽培方法等の解説を充実させていく。プランターについては、移動が容易なことから、季節を演出する植物を植え付け、動きのある配置をすることで、ゲートから一望した際、全体として統一感のある展示となるよう、植物の選定や、組み合わせ方等を検討していく。

### 参考文献

梶川修：平成14年度カスケードコンテナ及び周辺花壇植栽、広島市植物公園栽培記録第24号(2002)

磯部実、梶川修、高東朗、門村逸喜：平成17年カスケードコンテナ及び周辺植栽花壇について、広島市植物公園栽培記録第27号(2005)